

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.10.28

No. 53

二次募集応募者は迅速な対応を！！



まだ就職希望者で職が決まっていない人が本校で30数名残っています。赤点で進級できるかどうかという人も含めていますが、この数は昨年と同じ時期に比べても多く、かなり多いと言ってよいでしょう。すでに2次試験を受け結果待ちの人も何人かいますが、今年のような先行きの見通しが厳しいときに、卒業までに全員の就職を決めるのはかなり難しいようにも感じています。

少ないながらも二次募集の情報を流しても生徒が中々食いついて来ません。新規に求人が出た企業の見学に行く等一向に動き出さない生徒が何人もいます。見学に行っても、受けたいと言いつつ履歴書をいつまで経っても出さないものもいます。

先日もある生徒に大分以前に勧めた企業に3週間以上経ち見学に行きたいと言われ、問い合わせたところすでに埋まってしまったとの返事を受けました。皆さんがぐずぐずしている間に、求人があった会社もどんどん埋まっていることをもっと、強く受けとめて欲しいものです。つまり皆さんの可能性がどんどん狭まっているのです。「待てばよい会社が出てくる」と思っていれば大間違いです。支援員の唐澤さんに今企業回りをさせていただいていますが、10社回って1社の求人が出ればいい方です。やっと見つけていただいた求人に向いてこないでは話になりません。

急激な円高は止まらず、大手企業は海外移転が一層進んでいます。せめて今年いっばいに決めないと、年が明ければ求人してくれる会社は極端に減るように思われます。ぱっぱと動いてくれないと決まるものも決まりません。迅速な対応を心がけて欲しいものです。

各種書類の提出を！

推薦願、受験報告書等が提出されない生徒が何人かいるように思われます。特に進学希望者の書類の未提出が気になります。

出すべきものは早めに出しましょう。

進学者の健闘目立つ

今年の進学希望者で、これまで本校からほとんど行ったことのない大学へ合格した生徒が何人か出てきました。

今年より多部制単位制になり、進学希望者が多くなったという点もあるでしょうが、そのような大学へ入ったのかと感心させられました。思い切って挑戦すると道が開けるんだとも感じさせられました。あらためて、「尻込みせず何事も挑戦してみるものだ」とも思いました。最もそうした大学へ受かった人の志願理由書等を読ませてもらった際、それなりに力も持っている生徒だとも感じました。

ともあれ簡単に尻込みせず、何事にもチャレンジ精神を持つことは大切です。初めからダメとあきらめず、あえてチャレンジしてみると、道が開くことが少なくありません。皆さんもこれからの人生の中で、チャレンジ精神を持って事に当たることを心がけて欲しいものです。

